

## (1) 展示評価シート

一宮市博物館 1 階展示ホールにて展示中の「2025 年度博物館実習生展示」を見て、評価できる点と改善できる点をどんなことでも構いませんので、それぞれ最低 2 つ以上書いてください。

### 1. 展示全体

#### ◆ 評価できる点

- ・ 考古資料、土器資料の両方を用いて文様に着目している。
- ・ パネルとのバランスがよく、見やすい。

#### ◆ 改善できる点

- ・ キャプションのタイトルの文字の大きさ、高さをそろえる。
- ・ パネルの行間とルビのバランスを整える。

### 2. 展示ケース 1(受付に近い方)

#### ◆ 評価できる点

- ・ 時代の違う大物 3 点で見やすく、違いがわかって面白い。
- ・ 縄文～中世という長いスパンを端的にまとめている。

#### ◆ 改善できる点

- ・ 瀬戸焼のキャプションが小さい。
- ・ 瀬戸焼だけではなく、他のものの説明があるとよかった。

### 3. 展示ケース 2(階段に近い方)

#### ◆ 評価できる点

- ・ 大皿を立てているので、文様が見やすい。
- ・ 展示年表があってわかりやすい。

#### ◆ 改善できる点

- ・ 碗類はもっと高さが欲しい。
- ・ 年表は A3 を 2 枚にする等、もっと大きくてもよい。

## (2)展示企画書

(1) の場所（一宮市博物館 1 階展示ホール）での展示企画書を Web 上で公開しているデータベース (<https://www2.icm-jp.com/>)を参照の上、作成してください。ただし、使用できる資料は、一宮市博物館所蔵の考古資料または美術工芸資料（陶磁器）に限ります。

※この企画書をもとに話し合い、実際に展示作業を行ってまいります。

### 1、展示のタイトル（テーマ）

土師器と須恵器～昔暗記したかもしれない土器たち～

### 2、展示したい資料

- ・ 土師器：壺
- ・ 土師器：器台
- ・ 須恵器：壺
- ・ 須恵器：器台

### 3、展示の対象（ターゲット）

- ・ 夏休みの子どもたち
- ・ 歴史に興味のある中高生、大人

### 4、展示の目的（伝えたいメッセージ）

同時期に出現し、テストのために暗記したかもしれない土師器と須恵器を題材に、両者の製作技法の違いを知ってもらう。

### 5、展示の概要（構成・手法など）

それぞれの土器の違いを同器種を並べることでわかりやすく展示。